

2025 年 5 月 29 日

静岡市葵区鷹匠一丁目1番1号
静岡鉄道株式会社

静鉄グループ 2025 年 3 月期 連結決算概況について

2期連続の増収増益、過去最高益を更新

◇連結決算概況

当連結会計年度においては、自動車販売事業における高価格帯車種の販売台数増加や、人流の回復に伴う需要の増加によりビジネスホテル事業の稼働率および客室単価が上昇したこと、また不動産販売事業では事業用不動産の引渡が増加したことなどから、当会計年度における営業収益は 1,838 億 9 千 5 百万円(前期比 8.1%増)となりました。

利益面では、エネルギー関連費用が増加するなど一部減益要素もございましたが、各事業売上高の増加に伴う粗利益の増加等により、営業利益は 55 億 1 千 4 百万円(前期比 49.5%増)、経常利益は 52 億 1 千 2 百万円(前期比 57.9%増)、当期純利益におきましては、43 億 5 千 7 百万円(前期比 38.3%増)となりました。

なお、営業収益および各段階利益において、連結決算の過去最高を更新しました。

◇2026 年 3 月期の見通し

2026 年 3 月期の業績予測につきましては、前期に牧之原サービスエリアの運営を終了したことによる観光売店事業の減収のほか、自動車販売事業では前期ほど高価格帯車種の商品ラインナップが予定されていないことから、売上高は 1,783 億 13 百万円(前期比 3.0%減)を見込んでおります。

利益面では、減収に伴う粗利益の減少に加え、処遇改善等による人件費の増加や各設備投資による減価償却費の増加、電気料単価の上昇等によるエネルギー関連費用の増加など、コスト増となる事業環境を考慮した見通しとなります。

その結果、営業利益は 35 億 9 百万円(前期比 36.4%減)、金利の上昇に伴う支払利息の増加等により経常利益は 25 億 83 百万円(前期比 50.4%減)、当期純利益は 25 億 1 百万円(前期比 42.6%減)を見込んでおります。

なお本年度は現在進行中の「中期経営計画 2025」の最終年度となります。2026 年 3 月期の業績予測は前期比で減収減益の見通しながらも、計画策定当初に掲げた目標については達成見込みです。

本年度策定する次期中期経営計画においては、静鉄グループの長期目標として据える「SOCIAL GOOD COMPANY」の実現を目指し、課題の解決に取り組んでまいります。

当社グループは、今後もお客様に安全・安心・快適をお届けするための取り組みをグループ全体で推進するとともに、生活ニーズの多様化に応える事業活動を実施してまいります。

<添付資料>

- ・静鉄グループ 2024 年度 事業セグメント別概況
- ・静鉄グループ 2024 年度 連結決算指標

この件のお問い合わせは下記へお願いいたします

経営管理部

☐グループ事業課:古川(ふるかわ)、杉山(すぎやま)

☐直通電話:(054)254-5116

☐FAX:(054)273-0658

☐Eメール:group@shizutetsu.co.jp

総務部

☐総務課:大賀(おおが)

☐直通電話:(054)254-5129

☐FAX:(054)255-8816

☐Eメール:y.oga@shizutetsu.co.jp

静鉄グループ 2025 年 3 月期 事業セグメント別概況

当社グループは、交通事業、流通事業、自動車販売事業、不動産事業、レジャー・サービス事業、建設事業の 6 つの事業セグメントで構成されています。事業セグメント別の概況は以下のとおりです。

・交通事業

鉄道事業では、2024 年 3 月から 3 ヶ月間にわたり、TV アニメとの企画を実施してラッピング電車を運行するなど、沿線の盛り上げに努めました。2025 年 3 月からは、各方面への速達性向上のため「通勤急行」、「急行」列車を運行するダイヤ改定を実施いたしました。また輸送人員は 8,642 千人(前期比 2.5%増)となり、前期と比べて旅客運輸収入が増加しました。

索道事業の日本平ロープウェイにおいては、人流の回復や、インバウンド需要の高まりにより、輸送人員は堅調に推移しました。一方、更なる安全性の向上と安全輸送を目的に、2024 年 5 月末から 7 月にかけて約 1 ヶ月間、ロープウェイ営業を休止し設備更新工事を実施したため、輸送人員は 645 千人となり、大河ドラマの影響で過去最高の輸送人員を記録した前期と比べて 28.5%減少しました。

乗合バス事業のしずてつジャストラインでは、輸送の安全を確保し、経営改善に努めるとともに、将来にわたって路線バス事業の安定的な継続を図るべく、2024 年 10 月から、1997 年以来 27 年ぶりとなる運賃改定を実施いたしました。また 2025 年 3 月には、日ごろご利用いただいているお客様への感謝を込めて、6 年ぶりに「しずてつバスフェスタ」を開催いたしました。人流の緩やかな回復により、輸送人員は 27,442 千人(前期比 0.9%増)となり、前期と比べて乗合運送収入が増加しました。

以上の結果、交通事業の営業収益は、146 億 3 千 9 百万円(前期比 4.5%増)となりました。

・流通事業

スーパーマーケット事業の静鉄ストアでは、2024 年 7 月に大岡店、11 月に藤枝高洲店をリニューアルオープンし、品揃えを充実させるとともに、青果・精肉・一般食品をお値打ち価格で提供することに努めております。また 2025 年 1 月に小型店舗「KITE-GO」の 5 店舗目となる「KITE-GO 八幡町店」を開業いたしました。販促強化や一品単価の上昇などにより、前期と比べて店舗売上が増加しました。

食堂売店事業の静鉄リテイリングでは、インバウンド需要の高まりから、神奈川県「箱根関所旅物語館」をはじめとした観光売店や、ハンズ静岡店における売上が増加しました。

以上の結果、流通事業の営業収益は、477 億 4 千 6 百万円(前期比 1.8%増)となりました。

・自動車販売事業

自動車販売事業のトヨタユナイテッド静岡では、2025 年 2 月に静岡県内のトヨタ販売店では初めての GR Garage となる「GR Garage 沼津」をプレオープンいたしました。またお客様のライフスタイルに寄り添った新しい提案として、2024 年 12 月には浜松和田店の敷地内に「サーティワンアイスクリーム浜松和田店」をオープンいたしました。新車販売台数は 15,746 台(前期比+399 台)となり、高価格帯車種の販売等による台当り単価の上昇などにより、新車売上は増加いたしました。また中古車販売台数については、9,301 台(前期比△381 台)となりましたが、市場高騰による台当り単価の上昇などにより、中古車売上は増加しました。

自動車レンタル・リース事業のトヨタレンタリース静岡では、店舗カウンターで実施する“出発”や“返却”の手続きを、専用端末にて簡単・スピーディーに実施することのできるセルフチェックインサービス「RaCCU」を順次導入いたしました。また車両の順次入替を進めたほか、レジャー需要の高まりなどにより、レンタカーの稼働率が前期に引き続き好調に推移したことで、レンタル売上は増加しました。また保有台数の増加により、前期と比べてリース売上が増加しました。

以上の結果、自動車販売事業の営業収益は、906 億 8 百万円(前期比 8.5%増)となりました。

・不動産事業

不動産販売事業では、新築建売住宅において「エバースクエア登呂一丁目」ほか 3 物件が好評のうち完売しました。

ショッピングセンター事業の静鉄プロパティマネジメントでは、新静岡セノバ5階に新たな物販・短期催事スペースとして「セノバひろば」をオープンいたしました。また劇団四季とのコラボレーションなどにより年間を通じて集客に努めたほか、2023 年 9 月から 2024 年初夏にかけて実施した館内の約 30 区画を対象とした大規模リニューアルが完了したことなどから、新静岡セノバ館内売上が過去最高を記録しました。

以上の結果、不動産事業の営業収益は、124 億 9 千 4 百万円(前期比 18.1%増)となりました。

・レジャー・サービス事業

ビジネスホテル事業では、インバウンドの影響などにより前期に引き続き客室稼働が好調に推移しました。全施設合算した平均客室稼働率は 84.1%(前期比 1.4pt増)となったほか、2023 年 10 月に開業した「静鉄ホテルプレジオ大阪心斎橋」を含む全 8 施設の通年営業や客室単価の上昇などにより、前期と比べて宿泊収入が増加しました。

以上の結果、レジャー・サービス事業の営業収益は、114 億 8 千 2 百万円(前期比 22.4%増)となりました。

・建設事業

建設事業の静鉄建設では、葵区民間企業新社屋の建築工事の施工などにより、建設事業の営業収益は、69 億 2 千 4 百万円(前期比 21.1%増)となりました。

2025年3月期 年度連結決算指標

◆連結決算概要

(単位:百万円、%)

	2025年3月	2024年3月	前期比		2025年度 業績予測	前期比	
			増減額	増減率		増減額	増減率
営業収益	183,895	170,112	13,783	8.1	178,313	△ 5,582	△ 3.0
営業利益	5,514	3,688	1,825	49.5	3,509	△ 2,004	△ 36.4
経常利益	5,212	3,301	1,911	57.9	2,583	△ 2,628	△ 50.4
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,357	3,151	1,206	38.3	2,501	△ 1,856	△ 42.6

◆セグメント別営業収益

(単位:百万円、%)

	2025年3月	2024年3月	前期比		2025年度 業績予測	前期比	
			増減額	増減率		増減額	増減率
営業収益	183,895	170,112	13,783	8.1	178,313	△ 5,582	△ 3.0
交通事業	14,777	14,145	632	4.5	15,621	843	5.7
流通事業	48,322	47,350	972	2.1	46,886	△ 1,436	△ 3.0
自動車販売事業	91,503	84,303	7,199	8.5	86,249	△ 5,253	△ 5.7
不動産事業	13,301	11,317	1,983	17.5	13,743	442	3.3
レジャー・サービス事業	13,055	11,131	1,923	17.3	12,604	△ 450	△ 3.5
建設事業	8,495	7,247	1,247	17.2	7,456	△ 1,038	△ 12.2
内部消去	△ 5,559	△ 5,384	△ 175	-	△ 4,247	1,311	-

◆セグメント別営業利益

(単位:百万円、%)

	2025年3月	2024年3月	前期比		2025年度 業績予測	前期比	
			増減額	増減率		増減額	増減率
営業利益	5,514	3,688	1,825	49.5	3,509	△ 2,004	△ 36.4
交通事業	△ 1,004	△ 711	△ 292	-	△ 1,037	△ 32	-
流通事業	430	528	△ 98	△ 18.6	391	△ 38	△ 9.1
自動車販売事業	4,126	2,812	1,314	46.7	2,710	△ 1,416	△ 34.3
不動産事業	1,000	679	320	47.2	742	△ 258	△ 25.8
レジャー・サービス事業	608	183	424	232.1	199	△ 408	△ 67.3
建設事業	370	280	89	32	108	△ 261	△ 70.6
内部消去	△ 17	△ 83	66	-	395	412	-

※金額は百万円未満を切り捨てて表示